

目 次

第一章	9.11以後の米国の情報体制	
	——「新しい戦争」、RMA、帝国化による強化 [加藤 朗]	1
	1. はじめに	1
	2. 「新しい戦争」戦略の導入	2
	3. RMA	5
	4. 帝国化	10
	5. 最後に	13
第二章	対テロ戦争における米国の情報体制と市民社会 [宮坂 直史]	15
	1. はじめに	15
	2. テロ対策の変化—対国家から対組織、個人へ	15
	3. 国際的な情報共有	18
	4. 米政府内の情報	20
	5. 米政府と市民	24
	6. おわりに	27
第三章	スチューピッド・ネットワーク時代における通信傍受	
	——米国における法的枠組みと技術 [土屋 大洋]	30
	1. 対米同時多発テロと通信傍受	30
	2. スチューピッド・ネットワークの台頭	30
	3. 米国における通信傍受の法的枠組み	35
	4. 通信傍受の技術の変化	38
	5. 結論	45
第四章	インテリジェンス活動に対する監査 (oversight) 制度 [新田 紀子]	50
	1. はじめに	50
	2. インテリジェンス機関に対する法的規制	51
	3. 監査制度	53
	4. 各組織内部の監査制度：監査総監 (Inspector General)	53

5. 行政監査 (executive oversight)	55
6. 議会によるインテリジェンスに対する監査 (congressional / legislative oversight)	58
7. おわりに：9.11後	68

第五章 米国におけるインテリジェンス活動の法的基盤

——行政特権と国家安全保障令を中心に [中山 俊宏]	76
1. はじめに	76
2. 大統領特権と外交及び安全保障問題	79
3. 行政命令の機能	81
4. 国家安全保障令の機能	83
5. 結び	87

第六章 米国のインテリジェンス・コミュニティとわが国へのインプリケーション

[北岡 元]	94
1. はじめに インテリジェンス・コミュニティとは何か	94
2. 米国のインテリジェンス・コミュニティ	99
3. わが国へのインプリケーション	107